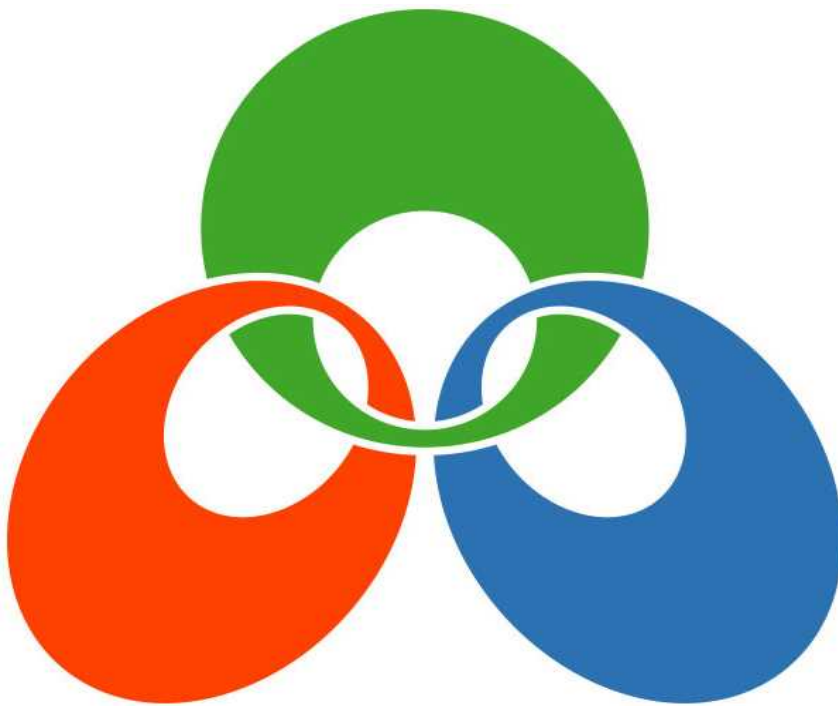


令和5年度事業
三種町教育委員会
事務点検・評価報告書



三種町教育委員会

もくじ

1 点検・評価の趣旨・実施方法等

頁 1・2

2 点検・評価の結果

基本政策1 若者の定住促進と賑わいのあるまち〔定住・賑わい〕

主要施策2【観光資源の充実と交流人口の拡大】

施策項目(2)【★交流人口の拡大】

No.	事業名称	担当係	頁
1	スポーツ文化合宿等誘致推進事業	スポーツ係	3

施策項目(3)【★スポーツによる地域活性化】

2	スポーツ大会運営費補助事業	スポーツ係	4
---	---------------	-------	---

基本政策4 誰もが生涯にわたり学び心豊かに暮らせるまち〔教育・文化〕

主要施策1【教育環境等の充実】

施策項目(1)【★教育環境の充実】

3	学校活動支援補助金等	総務学事係	5
4	学校保健・学校体育		6
5	スクールバス運行事業		7
6	外国青年招致事業・外国語活動支援員		8
7	特別支援教育推進事業・スクールカウンセリング事業		9
8	就学援助費制度		10
9	学校備品整備		11
10	学校情報支援員設置事業・教育活動推進員設置事業		12
11	教育環境の整備	総務学事係・学校統合推進室	13
12	町立学校再編整備事業	学校統合推進室	14
13	学校給食運営事業	学校給食係	15
14	学校給食の充実		16

施策項目(2)【★学び・スポーツ活動の機会拡充】

15	奨学金返還助成事業	総務学事係	17
----	-----------	-------	----

施策項目(3)【★学校・家庭・地域の連携推進】

16	安全教育と安全対策の推進	総務学事係	18
17	森岳小学校学校運営協議会	総務学事係・生涯学習係	19
18	三種町学校支援事業	生涯学習係	20
19	家庭教育講座		22

施策項目(4)【★学生支援体制の充実】

20	奨学資金貸付事業	総務学事係	23
----	----------	-------	----

施策項目(5)【青少年の健全育成】

21	青少年育成三種町民会議	生涯学習係	24
22	新年書き初め大会		25
23	三種町二十歳のつどい		26

主要施策２【生涯学習・スポーツの推進】

施策項目（１）【豊かな学び・スポーツの機会の充実】

No.	事業名称	担当係	頁
24	公民館事業	生涯学習係	27
25	三種町生涯学習奨励員協議会		28
26	三種町連合婦人会		29
27	高齢者学習支援事業		30
28	三種町町民祭（文化部門）		31
29	三種町スポーツ・文化栄誉賞		32
30	スポーツ振興事業	スポーツ係	33
31	チャレンジデー２０２３		34
32	三種町スポーツ推進委員会		35
33	三種町スポーツ推進審議会		36
34	八竜Ｂ＆Ｇ海洋センター		37

施策項目（２）【各種団体活動の活性化支援】

35	地域スポーツクラブ事業	スポーツ係	38
36	三種町スポーツ・地域振興推進協議会		39
37	日本体育大学・三種町推進協議会		40
38	三種町スポーツ協会		41
39	三種町スポーツ少年団		42

施策項目（３）【読書活動の推進】

40	読書推進事業	生涯学習係	43
41	ブックスタート事業		44

主要施策３【芸術文化活動の推進と郷土芸能の継承】

施策項目（１）【芸術文化活動の推進】

42	三種町音楽演奏会	生涯学習係	45
----	----------	-------	----

施策項目（２）【郷土芸能の継承】（３）【文化財の保護・活用】

43	文化振興事業	生涯学習係	46
----	--------	-------	----

1 点検・評価の趣旨・実施方法等

(1) 点検・評価の趣旨

平成19年6月、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに町民に公表しなければならない。」とされた。

この報告書は、上記法律の規定に基づき教育委員会が作成して議会へ提出するとともに、町民に公表するものである。報告書作成の趣旨は、令和5年度において教育委員会が実施した主要な事業について、その成果を検証・評価し、また、課題を把握して、それを今後の施策に活用しようとするものである。

(2) 点検・評価の方針

- ①点検・評価の対象は、主要事業及び当該年度の重点事業とする。
- ②事務点検・評価委員による評価について、学識経験者の意見を聴取し、報告書に添付する。
- ③議会へ報告書を提出する。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務〔前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。〕の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(3) 点検・評価の実施

点検・評価の実施にあたっては、三種町みらい創造プラン（令和3年度～令和7年度）、「第3編基本計画」の「第1章基本政策」にある「1. 若者の定住促進と賑わいのあるまち」、「4. 誰もが生涯にわたり学び心豊かに暮らせるまち」に設定している主要施策の現状と課題、5年間の方向性、施策項目に沿って行うものとする。

●基本政策1 「若者の定住促進と賑わいのあるまち」

主要施策2 観光資源の充実と交流人口の拡大

●基本政策4 「誰もが生涯にわたり学び心豊かに暮らせるまち」

主要施策1 教育環境等の充実

主要施策2 生涯学習・スポーツの推進

主要施策3 芸術文化活動の推進と郷土芸能の継承

※事業費に金額が入っていないものは、事業内容が多岐にわたるものであるため、額として表すことの不可能なものであることをご理解ください。

(4) 報告書の作成計画

①令和6年8月2日

事務点検・評価委員会において、委員より事業内容・実績課題等についての評価及び意見を聴取。

②令和6年8月30日

教育委員定例会で「事務点検・評価報告書」の報告。

③議会へ報告

全議員へ配布。

④事務点検・評価報告書の公表（町ホームページへ掲載）

2 点検・評価の結果

基本政策1 若者の定住促進と賑わいのあるまち〔定住・賑わい〕

主要施策2【観光資源の充実と交流人口の拡大】

施策項目（2）【★交流人口の拡大】

[スポーツ係]

名 称	スポーツ文化合宿等誘致推進事業	決 算 額	5,682 千円
事業内容	本町におけるスポーツ文化合宿等を積極的に誘致し、交流人口の拡大と地域の活性化を図ることを目的に、合宿、遠征、大会（公式大会を除く）等で町内に宿泊するスポーツ文化団体に対し、宿泊日数に応じて宿泊費の一部を補助する。		
実績報告	令和5年度実績 ・団体数 73団体（令和4年度 68団体） ・延べ宿泊者数 2,919名（令和4年度 2,399名） 前年に比べ宿泊団体、延べ宿泊人数ともに増加した。		
課題・ 今後の方針	スポーツ団体等の協力を得ながら合宿や大会等を開催し、来町者の増加が図られるように努める。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・実績が増加傾向にあるため、今後も継続が必要。 ・三種町に来てもらえるチャンスなので、大切におもてなしし、また来たいと思えるような誘致を目指してもらいたい。		

施策項目（３）【★スポーツによる地域活性化】

[スポーツ係]

名 称	スポーツ大会運営費補助事業	決 算 額	651 千円
事業内容	町独自のスポーツ大会へ運営費を補助し開催することで、町への流動人口の増加と地域の活性化に資する。		
実績報告	令和５年度実績 ・高校硬式野球三種町招待試合 ・メロンカップ小学生バレーボール三種大会 ・じゅんさいカップミニバスケットボール三種大会（助成なし） ・三種町長杯大学準硬式野球大会 ・三種町長杯大学バスケットボール大会 ・北緯４０度中学校バスケットボール交流大会		
課題・ 今後の方針	今後も継続し開催するとともに、主管団体と連携を図りながら広く県内外から来町するよう、更に大会の充実を図りたい。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・継続し、地域の活性化に努めてほしい。 ・スポ少減少になっても、続けてほしい。		

基本政策 4 誰もが生涯にわたり学び心豊かに暮らせるまち [教育・文化]

主要施策 1 【教育環境等の充実】

施策項目 (1) 【★教育環境の充実】 【★学び・スポーツ活動の機会拡充】

[総務学事係]

名 称	学校活動支援補助金等	決 算 額	7,205 千円
事業内容	義務教育を受けるために必要な経費を援助することにより、保護者の負担軽減を図る。		
実績報告	・ 遠距離通学費の補助 (小学校 4 k m、中学校 6 k m 以上) 3 3 名 732,112 円 ・ 小学校入学児童へのランドセル寄贈 7 6 個 1,914,440 円 ・ 自転車用ヘルメット寄贈 小学校 3 年 7 2 個、中学校 1 年 9 3 個 計 508,200 円 ・ 体育文化部活動への旅費等補助 小学校 0 件、中学校 2 9 件 計 3,258,878 円 ・ 実用英語技能検定補助 2 6 8 名 790,940 円		
課題・ 今後の方針	各学校と連携を密にし、対象者の把握に努め、制度の周知を引き続き行っていきたい。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・ 児童・生徒数は減少しているが、それなりの対応は必要。 ・ ランドセル寄贈だけでなく、ヘルメットや英語検定補助があることを知り、保護者の負担軽減になるのでよい。 ・ 物価高で保護者の負担がかかってくるので、とても助かると思う。		

[総務学事係]

名 称	学校保健・学校体育	決 算 額	1,025 千円
事業内容	児童生徒の心身の健康保持増進及び安心安全の確保のため、学校保健安全法等を踏まえて、学校健康診断の実施等、心身の健康保持増進に努める。 学校体育では児童生徒の状態を踏まえた指導の充実や運動部活動指導の工夫を行う。 学校保健では健康の保持増進をめざした望ましい生活習慣の確立をめざす。		
実績報告	小学校では、集団登校、体育授業の充実や業間体操、屋外活動やスポーツ少年団活動、中学校は体育授業や部活動などを通して、体力向上に積極的に取り組んでいる。 「次代を担う三種の子自立プラン」を受けて、基本的な生活習慣の確立をめざして、各学校で保健指導を充実させ、家庭への発信を意識した取組を進めた。また、小・中学校の養護教諭が中心となって、生活習慣の見直しに取り組み、実践を通して子どもたちだけでなく家族の方々の健康意識を高めるなどの大きな成果を挙げた。		
課題・ 今後の方針	基本的な生活習慣の確立は時間を要するため、小中学校で連携して取り組むことが望ましく、また家庭からの協力を得ながら継続していく。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・児童・生徒の心身の健康保持増進等の実績、成果が見られ継続でよい。 ・子どもたちのころに習慣化されたものは大人になっても続けることができる。よい習慣をつけられたらと思う。		

[総務学事係]

名 称	スクールバス運行事業	決 算 額	17,347 千円
事業内容	琴丘小学校、森岳小学校、山本中学校のスクールバスを運行し、登下校の通学手段として活用するほか、校外学習や各種大会等でも利用する。		
実績報告	スクールバスは、琴丘小学校 1 台（マイクロバス：鯉川方面）、森岳小学校 1 台（マイクロバス：下岩川方面）、山本中学校 2 台（45 人乗り大型バス：下岩川・金岡方面）の計 4 台が登校時 1 回と下校時 2 回運行し児童生徒の送迎を行っている。特に大きな事故等もなく安全に運行することができた。また、町内外の校外学習にも使用されているほか、各種大会にも運行され、十分活用されている。 ・ 琴丘小学校スクールバス 1 台の運行日数 288 日（校外学習 42 日、各種大会 33 日を含む） ・ 森岳小学校スクールバス 1 台の運行日数 258 日（校外学習 41 日、各種大会 15 日を含む） ・ 山本中学校スクールバス 2 台の運行日数 572 日（校外学習 88 日、各種大会 29 日を含む）		
課題・ 今後の方針	運転手の人材確保、故障時の迅速な対応が課題である。今後とも柔軟な対応をし、バスを有効活用していきたい。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・ 運転手については、外部委託が必要と思われる。 ・ 中学校統合に伴い必要性が高まると思う。 ・ 運転手の人材確保をお願いしたい。		

[総務学事係]

名 称	外国青年招致事業・外国語活動支援員	決 算 額	18,700 千円
事業内容	外国語教育の充実、国際理解教育の推進のため配置する。		
実績報告	現在、外国語指導助手（A L T）は3名おり、主に中学校を担当し、小学校も月4回程度訪問している。外国語活動支援員もA L T同様3名おり、主に小学校を担当し、中学校も月4回程度訪問している。 中学校に1名ずつA L Tを常駐させ、小学校には外国語活動支援員3名を担当させることで、安定した支援を行うことができた。教職員、A L T、外国語活動支援員が連携を取り合い、学習の準備を進めることで、小学校での英語の授業にもスムーズに対応できている。 また、夏休み中にはA L Tによる英語教室イベントを開催し、国際理解教育の推進を図ることができた。コロナによりしばらく実施できていなかった国際交流イベントだが、今後も定期的に行い、授業以外に外国語に触れる機会を増やしていきたい。		
課題・ 今後の方針	英語教育や国際理解教育の充実のため、今後も連携をとりながら、よりよい教育のために検討と実践を重ねていく。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・外国語教育は、小学校から積極的に導入していく必要があると思う。 ・A L Tの訪問やA L Tの常駐は、会話のできる環境教育として必要だと思う。		

名 称	特別支援教育推進事業・スクールカウンセリング事業	決 算 額	38,703 千円
事業内容	支援が必要な児童・生徒が安定した学校生活を送ることができるよう、特別支援教育支援員 24 名を各学校に配置した。 また、児童・生徒、保護者の相談、通級場所を確保するため「あすなろ教室」に特別教育相談員を配置し、3 中学校すべてにスクールカウンセラーを配置している。		
実績報告	特別な支援が必要な児童・生徒の通常学級での学習が可能となり、児童・生徒が安定した気持ちで学校生活を送ることができている。 また、八竜公民館内にあすなろ教室を設置することにより、心理的な理由により登校することができない状態にある児童・生徒の通級場所を確保することができた。 そして、各中学校ではスクールカウンセラーによる面談や各種講話会を実施することで、全校体制で生徒の心と体をケアし、いじめや不登校を未然に防ぐ教職員の意識を高めることができた。		
課題・ 今後の方針	児童・生徒が安心して学校生活を送ることができるように支援の充実を図っていく。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・支援員及びスクールカウンセラー等は、必要であり継続すべきである。 ・個々の児童・生徒の支援は継続してほしい。 ・特別支援を利用する生徒の保護者の相談場所があることは大切だと思う。 ・卒業後も（ケアのため）子ども住所を追えるようなシステムを作してほしい		

[総務学事係]

名 称	就学援助費制度	決 算 額	4,362 千円
事業内容	町内の小・中学校に在籍している児童生徒のうち、経済的な理由で就学困難と認められる者を、申請により要保護・準要保護児童生徒に認定し、その保護者に対して就学に必要な援助を行う。就学援助費の項目は、学用品費・通学用品費・校外活動費・新入学用品費・体育実技用品費・修学旅行費・学校給食費・医療費・児童生徒会費・P T A会費・クラブ活動費の11項目となっており、義務教育を円滑に行うことを目的とする。要保護については1／2国庫補助事業、準要保護は町単独事業。		
実績報告	各小・中学校及び関係機関と連携し、援助が必要な児童生徒の把握に努め、円滑な義務教育に資することができた。 小学校：1,260,728 円、中学校 3,100,817 円		
課題・ 今後の方針	町広報やホームページにより、制度の周知を引き続き行っていきたい。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・ 広報・ホームページで周知徹底して欲しい。 ・ 援助を必要としている家庭は、なかなかホームページまでたどりつけないと思う。学校との連携が必要だと思う。		

[総務学事係]

名 称	学校備品整備	決 算 額	6,571 千円
事業内容	小・中学校の老朽化した備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。		
実績報告	小学校 53件 4,191,077 円 主な備品 ・ F F 式石油暖房機（2校 計6台） 1,185,800 円 ・ 消火器（3校 63本） 346,500 円 中学校 42件 2,190,897 円 主な備品 ・ 山本中学校図書室 暗幕カーテン 169,840 円 ・ 琴丘中学校合成スポンジマット 252,560 円 ・ 八竜中学校防災カーテン・ブラインド 428,780 円		
課題・ 今後の方針	学校の再編を念頭に置きながら、教育環境の整備を行う。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・ 学校統合を見据えて必要最小限に購入されたい。 ・ 数年でも子どもたちのため整備をお願いしたい。		

[総務学事係]

名 称	学校情報支援員設置事業 教育活動推進員設置事業	決 算 額	10,741 千円
事業内容	I C T教育を支援するため、学校情報支援員 2 名を配置している。また、教育活動推進員をあわせて配置し、学校の I C T 環境を最大限に活用するため、教員を対象とした I C T機器活用推進研修を実施している。		
実績報告	G I G Aスクール事業により、児童・生徒に 1 人につき 1 台の端末整備を行った。令和 4 年度からは電子黒板の整備を開始した。導入計画を立てて進めており、学校統合に合わせて全学年への配置を完了する予定である。 また I C T教育において、情報支援員が機器の準備や操作等の支援を行うことで、各学校で安定した I C T教育を行うことができている。 I C T機器整備事業 ・液晶ディスプレイ一体型電子黒板 8 台 5,808,000 円 ※毎年各小中学校に 1 台を配置		
課題・ 今後の方針	タブレット端末を活用した授業に加え、デジタル教科書や教材等を導入し、引き続き I C T教育を推進していく。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・デジタル教育を積極的に進める必要がある。 ・情報支援員も大切だが、教員の I C T技能の向上も推進してもらいたい。		

[総務学事係・学校統合推進室]

名 称	教育環境の整備	決 算 額	115,636 千円
事業内容	児童生徒が安心して学習できる環境を整備するため、学校施設の老朽化や学校統合計画などを考慮しながら、必要に応じた改修工事等を行い、教育環境の向上と安全確保に努める。		
実績報告	【小学校修繕料】 46件／支出額：3,246,339 円 【小学校改修等工事】 8件／支出額：21,453,300 円 ○主な事業 ・琴丘小学校児童トイレ改造工事 11,660,000 円 ※全ての和式便器を洋式便器に更新 ※1 階女子トイレに障がい者用トイレを新設 【中学校修繕料】 28件／支出額：1,440,203 円 【中学校改修等工事】 6件／支出額：89,496,000 円 ○主な事業 ・山本中学校法面工事 86,852,700 円 ※体育館西側の法面補強工事		
課題・ 今後の方針	施設老朽化が目立ち、修繕費や工事費が毎年増加してきている。必要な修理箇所の迅速な把握と、きめ細やかな対応に努める。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・衛生施設の整備は優先に補修が必要。		

名 称	町立学校再編整備事業	決 算 額	143,160 千円
事業内容	【報償費】 ○三種町立小・中学校統合検討委員会等 202,500 円 (1) 三種町立統合中学校施設整備計画の策定 (2) 開校準備の「班編制」及び「作業内容」について (3) 校名の決定【三種中学校】 【手数料】 ○統合中学校建設に伴う開発許可申請手数料 340,000 円 【委託料】 ○三種町立統合中学校新築工事实施設計業務 101,674,100 円 ○三種町統合中学校敷地造成等調査設計業務 34,010,900 円 ○三種町立山本中学校擁壁補修設計業務 5,172,200 円 ○山本中学校敷地内施設アスベスト調査業務 1,760,000 円		
実績報告	中学校統合、及び山本・八竜地域の小学校統合に向け、小・中学校長、児童生徒の保護者、学識経験者等からなる、「三種町立小・中学校統合検討委員会」を組織し、小中学校の統合準備を進めた。統合中学校の校名については「三種中学校」に決定した。また、児童生徒、一般町民を対象としたワークショップを開催し、STEAM教育や地域連携について意見を聞き取ることができた。		
課題・今後の方針	令和6年度も小・中学校統合検討委員会を組織し、統合中学校建設工事の推進、及び小・中学校の統合に関する準備を進め、令和8年度の統合中学校及び令和9年度の統合小学校開校をめざす。 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・統合予定年度に遅れないように整備を進めてほしい。 ・統合小学校に向けいろいろあると思うが、是非がんばってほしい。		

[学校給食係]

名 称	学校給食運営事業	決 算 額	21,924 千円
事業内容	安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを促進し、保護者の経済的な負担軽減を図るため、学校給食費を第1子・第2子半額減免、第3子以降を全額免除にしている。		
実績報告	児童生徒に必要な栄養価を確保するとともに、給食費の値上げを据え置いている。また、給食費の減免等を行っていることにより、滞納繰越額も減少しており、保護者の経済的な負担軽減につながり、現年度分の未納がなくなっている。		
課題・ 今後の方針	令和6年度4月より第1子・第2子も含めた全額免除を行っていく。		
	☐ 継続 ☐ 廃止検討 ☒ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・ 少子化により、全額免除必要。 ・ 全額免除はとてもよいことだが、給食の内容はどうなのだろうか。知り合いの子どもたちは「給食が足りない」という声を何度か聞いた。免除も必要だが、内容も充実されたい。		

[学校給食係]

名 称	学校給食の充実	決 算 額	0 千円
事業内容	学校給食の食材として地場産物（秋田県内産物）を積極的に取り入れ、地域の旬の食材や伝統食を取り入れるよう推進する。 ・ノロウイルスをはじめとした全ての食中毒防止のため、衛生管理の徹底。 ・異物混入を防止するため厨房設備点検の徹底。 ・アレルギーのある児童・生徒へのアレルギー食対応の推進。		
実績報告	三種町の地場産物利用状況（野菜１５品目）２１．３％（県平均２３．６％）。天候不良や地域の生産者団体の配達等の人手不足により県平均より下がってしまったが、納入業者との話し合いの場でできるだけ地場産の野菜を納入してもらえるようにお願いした。 ノロウイルスをはじめとした食中毒の発生はなかったが、虫などの異物混入が１１件あった。調理員及び納入業者には、再発防止についての対策をするよう指導した。今後も衛生管理と設備点検を徹底していく。 アレルギー食・特別食対応児童生徒数は２１名。安全性を最優先して対応していく。		
課題・ 今後の方針	継続して取り組んでいく。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・地場産物を多く取り入れて対応して欲しい。 ・アレルギー食への対応は大変でしょうが、命に関わることなので、継続の取り組みをお願いします。		

施策項目（２）【★学び・スポーツ活動の機会拡充】

[総務学事係]

名 称	奨学金返還助成事業	決 算 額	405 千円
事業内容	次代を担う若者の人材確保や定住促進等のために、高校や大学を卒業し、地元で就職しながら奨学金を返還している方へ助成。年間返還額に対し、10万円を上限に1/3の助成を5年間実施。		
実績報告	R5 405,000円（6件）		
課題・ 今後の方針	周知方法に課題		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・ 広報等周知を徹底し、継続必要。		

施策項目（３）【★学校・家庭・地域の連携推進】

[総務学事係]

名 称	安全教育と安全対策の推進	決 算 額	242 千円
事業内容	家庭、保護者、地域住民、スクールガード等の連携により、地域ぐるみで学校の安全な環境づくりを推進する。		
実績報告	防犯教室、交通安全教室、避難訓練など日常的に安全指導を行い、児童が様々なケースに対応できるよう訓練を実施している。また、スクールガード等により、登下校時の見守りがあるため、安心して登下校ができています。 小学校新入学児童には、防犯ブザーを支給し、危険を回避できるよう努めた。小学校通学路について、関係機関（国土交通省能代河川国道事務所、山本地域振興局建設部、能代警察署、建設課、町民生活課、スクールガード・リーダー）による合同点検を実施し、危険箇所の把握と対策方法の協議を行った。 「子供１１０番の家」については、各学校からリストを提出してもらい、能代警察署へ提供し、情報の共有化を図っている。 ◆主な事業 事業名：地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業（県 32,000 円）報償費：174,000 円（スクールガードリーダー）保険料：67,244 円		
課題・ 今後の方針	見守り隊員の高齢化による登録者の減少が続いており、新たな見守り隊員の確保が課題となっている。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・地域の見守り隊は必要であり、高齢化は問題だが、人員確保を図られたい。 ・見守り隊を引き受けているが、地域の空き家が目立ち道路に面した家の前の雑草が伸びて集団登校の安全面への配慮が必要。すごいスピードで走行する車も見られるため、その対策。 ・「子ども 110 番の家」のステッカーのチェックをしてほしい。		

名 称	森岳小学校学校運営協議会	決 算 額	105 千円
事業内容	①校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること②学校運営に関する意見を教育委員会または校長に述べること③教職員の任用に関して教育委員会に意見を述べることの3つの役割のもと保護者・地域・学校が学校運営に参画し、一体となって子どもを支える体制を作ることにより「地域とともにある学校」づくりを進める。		
実績報告	三種町のモデル校として令和4年度から森岳小学校に学校運営協議会を設置している。 第1回 令和5年5月30日（火） （1）昨年度の学校運営協議会について（2）学校運営方針についての説明と承認（3）情報交換と意見交流 第2回 令和5年11月28日（火） （1）あきた型学校評価について （2）熟議「子どもたちの安全を守るために学校・保護者・地域でどのように連携すればよいのか」 第3回 令和6年2月22日（木） （1）秋田型学校評価について（2）情報交換等		
課題・ 今後の方針	・学校運営協議会を設置して2年が経過した。 ・学校、保護者、地域の三者が連携して子どもたちのために取り組んでいくことを確認し、それぞれの絆も深まっている。 ・職員やPTAとの連携を図るところまではいけなかったの で、 今後は、協議会と教職員、PTAの連携の在り方を検討する。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・職員、PTAと連携を図れるよう継続が必要。		

名 称	三種町学校支援事業	決 算 額	1,230 千円
事業内容	学校・家庭・地域が一体となり、みんなで支える学校・みんなで育てる子どもの体制づくりのため、地域の教育資源を活用したふるさと教育の充実を図る。		
実績報告	主な活動内容 ○琴丘小学校 シイタケ植菌作業、房住山登山、環境学習（はちろうプロジェクト）、黄花コスモス苗植え、梅ジャム作り、田植え・稲刈り・脱穀作業、中館番楽、ふくしん坊スクール等 ○森岳小学校 見守り活動、学習指導（豆腐づくり体験）、サツマイモ苗付け・収穫、花壇花苗植栽、森岳歌舞伎・現代舞踊の活動、読み聞かせ、じゅんさい摘み取り体験学習、リンゴ狩り体験学習、スノーアクティビティー、浄水場・配水池の見学等 ○金岡小学校 正課クラブ（将棋・茶道・生け花・卓球・昔遊び）、じゅんさい摘み取り、金小ふるさと元気プロジェクト（地域交流学习）、家庭科学習・図工科学習、小保交流農園活動、読み聞かせ等 ○浜口小学校 見守り活動、交通安全教室、釜谷浜合同クリーンアップ、八郎湖環境学習・水草植え、獅子舞クラブ、米粉・どら焼き作り、サツマイモパン販売、地域合同避難訓練等 ○湖北小学校 交通安全自転車教室、車いす・アイマスク体験教室福祉講話、砂像作り体験、枝豆種まき、豆腐作り、茶道体験、読み聞かせ、お茶体験等		

	○琴丘中学校 チャレンジデー講演会、施設奉仕活動、日赤秋田短大出前講座、芸術鑑賞教室、キウイ摘み取り体験、租税教室等 ○山本中学校 畑耕起作業、花いっぱい運動、森岳歌舞伎、食農体験、ようこそ先輩講演会、総合学習学年発表会等 ○八竜中学校 花壇整備作業、食農体験、八竜ふるさと創生集会、防災学習会等事業の実施により、子どもの多様な体験・経験がますます増加し、ふるさとの名物や文化に触れる豊かな教育活動が展開され、地域を誇りに思う気持ちが育った。
課題・ 今後の方針	引き続き、地域と学校の協働活動を支援していく。
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度
評価委員の 意見・評価 等	・環境活動は必要、継続されたい。 ・地域との交流は大切・子どもが少なくなった今、町全体で子育てや教育を手助けできればよい。 ・特色あるふるさと教育が実践されているのがよい。

[生涯学習係]

名 称	家庭教育講座	決 算 額	50 千円
事業内容	乳幼児期から家庭教育支援への取り組みを進め、子育ての不安を解消し、家庭・学校・地域の連携をもとに交流し、家庭教育力の充実を図る。		
実績報告	幼稚園や保育園、松庵寺を会場として家庭教育講座を行った。 講座内容：リトミック講座、食育&親子体操教室、心身リフレッシュ講座等		
課題・ 今後の方針	時代によって移り変わる課題に沿って、より充実した講座の開催ができるよう講師の選定などを工夫していきたい。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・家庭教育は重要課題であり、継続必要。 ・子育て支援の拠点（みっしゅ）保健センターとの一連の流れの取り組みがあってもよいと思う。 ・気軽に相談できる場所があることは大切だと思う。母親同士の交流も大切。		

施策項目（４）【★学生支援体制の充実】

[総務学事係]

名 称	奨学資金貸付事業	償還額：5,991 千円 貸与額：9,040 千円
事業内容	町の未来を担う子どもたちへの就学支援と名材育成を目的として、町内に住所を有する学生（高校・高専・短大・専門・大学）に対し、奨学資金貸付基金により奨学金を貸与する。	
実績報告	令和５年度は４名の申し込みがあり、４名を奨学生として採用した。	
課題・ 今後の方針	貸与者の償還の遅れや滞納等の問題があるので、本事業を維持するため、滞納者への家庭訪問や督促の発送を行うほか、返還に対する指導が必要である。	
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度	
評価委員の 意見・評価 等	・家庭の負担を軽減するためにも、この事業は必要。	

施策項目（５）【青少年の健全育成】

[生涯学習係]

名 称	青少年育成三種町民会議	決 算 額	172 千円
事業内容	青少年の人間形成の重要性に鑑み、広く町民の総意を結集し青少年の健全育成を図る。		
実績報告	あったか声かけ運動については２回実施し、青少年の非行防止及び社会環境の浄化に資することができた。また、県や関係団体が主催する会議等にも積極的に参加することで活発な意見交換や情報収集が行われた。 ５月１５日 わたしの主張２０２３募集依頼（町内中学校） ８月３０日 通勤通学あったか声かけ運動（鹿渡駅・森岳駅・北金岡駅） １１月 ８日 通勤通学あったか声かけ運動（鹿渡・森岳・北金岡駅、町内中学）		
課題・ 今後の方針	引き続き、青少年の健全育成を目標に事業の実施に取り組んでいきたい。今後も、啓発効果だけでなく児童・生徒の学校生活を豊かにできるような活動を考えていきたい。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・声掛け運動は必要で、継続を願う。		

[生涯学習係]

名 称	新年書き初め大会	決 算 額	21 千円
事業内容	書道を通して、小・中学生の交流を図り、書道に対する関心を高めるため、新年書初め大会を実施している。		
実績報告	1月5日、新たな1年の書道上達を目的に、山本公民館講堂で開催した。 参加者は、小学生27名、中学生8名。 1月6日から11日間、山本公民館に作品を展示した。		
課題・ 今後の方針	今後も開催方法等を工夫しながら事業を継続していきたい。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・書道の上達ができるよう、継続が必要。		

[生涯学習係]

名 称	三種町二十歳のつどい	決 算 額	339 千円
事業内容	青少年の社会的自立を促すため、対象者による二十歳のつどい実行委員会を組織し、式典の企画立案や運営を行った。		
実績報告	令和5年度は、8月15日、琴丘総合体育館を会場に開催した。 令和5年度対象者：126名（男62名、女64名）		
課題・ 今後の方針	三種町に住んでいる対象者が年々少なくなり、実行委員探し が課題となっている。今後は、町外在住の対象者にも協力を依 頼し、実行委員会開催の際はリモートで行う等の対応を検討し ていく。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・できれば地元の人で実行委員会を作るのが理想。 ・実行委員が少ないと聞いたことがある。三種だけでなく、秋田県内に残っている人達と連絡を取り盛り上げてほしい。		

主要施策 2 【生涯学習・スポーツの推進】

施策項目（1）【豊かな学び・スポーツの機会の充実】

[生涯学習係]

名 称	公民館事業	決 算 額	5 千円
事業内容	生きがいと潤いのある生活を営めるよう生涯にわたって自発的かつ継続的に行える学習の支援に努め、各種講座や学習会を開催する。		
実績報告	[山本公民館]（講師謝礼 5 千円） 陶芸工作体験を開催。7 名参加。 [八竜公民館] 実施することができなかったため、次年度は内容を検討し、魅力的な講座を提供していきたい。 [琴丘公民館] 実施することができなかったため、次年度は内容を検討し、魅力的な講座を提供していきたい。 [山本公民館まつり] 11 月 26 日、山本公民館において第 11 回山本公民館まつりが開催され、展示部門では陶芸や水墨画がならび、発表部門では大正琴や舞踊団体等が出演。また、写真展を 1 月 17 日から 31 日まで山本公民館ロビーを会場に開催した。		
課題・ 今後の方針	地域人材がもつ豊かな経験や知識、学習の成果を生かせる機会を増やしていきたい。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・地域のいい人材を活用していただきたい。 ・八竜・琴丘公民館の講座開催を実施してほしい。		

[生涯学習係]

名 称	三種町生涯学習奨励員協議会	決 算 額	222 千円
事業内容	住民の学習活動を奨励援助し、地域主導による生涯学習の推進に努める。		
実績報告	生涯学習奨励員 12 名。 県や郡市で開催される各種研修会へ出席。町民ひとり一学習を目指し、生涯学習奨励活動や学校支援事業へのボランティアリーダーとして参加協力した。 また、郡市協議会の事業である研修会では、担当町として開催準備等に主体的に参加し、みっしゅの施設見学会を行った。		
課題・ 今後の方針	引き続きボランティアリーダーの育成、相互情報共有の場づくりなどに努めていく。 特に若い人材を発掘し、人員確保を図っていく。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・ボランティアリーダーは、必要。		

[生涯学習係]

事業名	三種町連合婦人会	決算額	300 千円
事業内容	女性の地位向上と、積極的に社会参加できる環境づくりに努め、関係する団体への情報提供などを行い、支援・連携を図る。		
実績報告	研修会やボランティア活動など、地域のための様々な活動を実施し、婦人会会員相互の親睦を深めている。 秋田県婦人会大会への参加、消費者問題研修会の開催等多岐にわたって活動し、女性の地位向上に資することができた。 また、公益社団法人千島歯舞諸島居住者連盟の事業により「北方領土を語る会」を琴丘地域拠点センター研修室で開催することができた。		
課題・ 今後の方針	高齢化による会員数の減少が課題となっている。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・新しい人の勧誘が重要課題で、是非継続して欲しい。 ・議会傍聴などの活動もしているが、会員が少ない単婦会員同士の研修会も今後必要かと思われる。		

[生涯学習係]

名 称	高齢者学習支援事業	決 算 額	311 千円
事業内容	一人ひとりが健康で、暮らしに潤いと活力を生むための学習 機会の提供と環境づくりに努める。 実施事業：みたね大学の開設（町内60歳以上対象）		
実績報告	全体会を4回、コース別学習会を6コース×3回開催し、延 べ85名が参加した。 山本公民館：歌唱、ユニカール 八竜公民館：まめでらが体操、うたごえ喫茶 琴丘公民館：ボッチャ、色鉛筆画		
課題・ 今後の方針	皆勤賞のハードルを下げる目的でコース別講座の回数を3回 としたが、少ないとの意見が出たため、令和6年度は4回に戻 している。来年度は、より魅力的な学習内容を提供できるよう にしていきたい。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・高齢者の希望に沿った形で、継続すべき。		

[生涯学習係]

名 称	三種町町民祭（文化部門）	決 算 額	0 千円
事業内容	町民一人ひとりが作品の展示や発表を行い、日頃の成果を披露する機会とし、芸術文化の向上と振興を図る。		
実績報告	文化作品展示部門では学校関係 7 2 1 点と一般・芸文協から 4 5 8 点が出展された。発表部門では一般・芸文協 1 2 団体が日頃の練習の成果を発表した。また町内 2 中学校吹奏楽部が迫力ある合同演奏を披露した。		
課題・ 今後の方針	より多くの住民参加による魅力ある町民祭を目指す。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・活動成果の発表の場として継続必要。		

[生涯学習係]

名 称	三種町スポーツ・文化栄誉賞	決 算 額	229 千円
事業内容	スポーツ・文化の分野において各種大会・コンクール等で優秀な成績を収めた町民を表彰し、意欲向上を推し進める。		
実績報告	スポーツ栄誉賞：50 個人、5 団体 文化栄誉賞：10 個人 特別賞：1 個人、1 団体		
課題・ 今後の方針	近年は大会の種類が複雑化し、これまでの基準では授与の判断が難しくなっている。時代に合わせ授与基準を改正しながら、公平性を確保できるよう努める。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・精査して継続必要		

[スポーツ係]

名 称	スポーツ振興事業	決 算 額	996 千円
事業内容	町民のスポーツ参加を促進する取組を通じて、成人の１年に一度以上スポーツを実施する割合を１００％に近づける。		
実績報告	スポーツの日は関係団体の協力のもと、クアオルトウォーキング、マレットゴルフ大会やみたねマラソン大会等を開催したほか、町内体育施設の無料開放を行った。 スポーツ教室は、小学生水泳教室（７月～８月）を計７回、バドミントン教室を計４回開催した。 ４年ぶりとなる三種町８人制バレーボール大会は２月１８日に琴丘総合体育館で行われ、一般の部１６チーム、シニアの部３チーム、約３００人の参加があった。一般の部は下岩川MMT、シニアの部はチーム大曲シニアが優勝した。		
課題・ 今後の方針	町民が参加しやすいスポーツイベントやスポーツ教室を開催し、より参加しやすい環境づくりに努めていきたい。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・クアオルトやラジオ体操など日常的に参加できる環境づくりを今後も工夫してほしい。 ・集まることで交流が生まれ、人との繋がりができるため継続してほしい。 ・町民が多数（年齢も幅広く）参加できる事業を実施してほしい。また、人気のイベントは回数を増やす等参加の希望がある方がすべて参加できるように努めてほしい。		

[スポーツ係]

名 称	チャレンジデー 2023	決 算 額	1,284 千円
事業内容	毎年5月最終水曜日に開催される世界的スポーツイベントのチャレンジデーに参加することで、町民の運動・スポーツ実施意欲と健康増進の図る。		
実績報告	三種町として11回目の参加で広島県北広島町(参加率48.5%)、群馬県吉岡町(参加率26.4%)と対戦し1勝1敗(参加率41.0%)となった。また、「チャレンジデー 感謝のつどい」では、開催31年中29回の参加で全国8団体の一つとして特別賞を受賞した。		
課題・ 今後の方針	チャレンジデーが令和5年度をもって全国一斉開催が終了したことから、町民が参加しやすいスポーツイベントなどを開催し、参加しやすい環境づくりに努めていきたい。		
	☒ 廃止 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・廃止は残念だが仕方ない。 ・運動のきっかけづくりに確実に繋がっているので、チャレンジデーの代替事業がほしい。		

[スポーツ係]

名 称	三種町スポーツ推進委員会	決 算 額	1,352 千円
事業内容	本町のスポーツ振興のため、地域スポーツの推進役として町民へスポーツに関する指導及び助言等を行う。また、スポーツ推進委員としての資質向上に努める。		
実績報告	25名の委員がスポーツの実技指導及び助言等に加え、スポーツ推進のため町民とのパイプ役として活動した。 全県大会や東北大会など通常どおりに開催された。また、青森市で開催された全国大会では30年表彰で1名の方が表彰された。4年ぶりに開催された8人制バレーボール大会では、大会運営の中心として運営に携わり、大会を成功に終えることができた。		
課題・ 今後の方針	各種大会等への参加について参加者の偏りが見られる。多くの実行委員がそれぞれの立場で事業に参加できるように育成や機会創出を図りたい。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・三種町は他市町と比較しても委員数が多い。 (例：能代市20人、八峰町12人、藤里町13人) ・次回改選期には検討が必要と思われる。		

[スポーツ係]

名 称	三種町スポーツ推進審議会	決 算 額	80 千円
事業内容	スポーツ推進に関する事項について調査審議し、教育委員会に建議する。		
実績報告	スポーツ推進審議会委員 9 名。7 月 1 4 日と 1 1 月 1 6 日の 2 回審議会を開催し、前審議会での意見・課題等の進捗状況の報告、町スポーツ全般の課題等について意見具申を行った。また、2 回目の審議会では、町内体育施設の視察も行い、体育施設の状況の確認をした。		
課題・ 今後の方針	今後も町民と行政のパイプ役として、町民のスポーツニーズを把握し、スポーツの推進を図っていく。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・審議会は、重要な役割を担っているため、継続が必要。		

[スポーツ係]

名 称	八竜B＆G海洋センター	決 算 額	4,484 千円
事業内容	町民の海洋性スポーツ等の実践を通じて、青少年の心身の鍛錬、健全育成及び豊かな人間性の高揚に寄与する。		
実績報告	令和5年度は6月25日から9月3日まで開設し、利用者数4,257名、使用料収入39,250円であった。小学生水泳教室を計7回開催（1回大雨で中止）したほか、幼稚園・保育園・小中学校の授業や一般利用で、多くの方からご利用いただいた。また、小プールの塗装修繕工事を行った。		
課題・ 今後の方針	センターインストラクターが1名以上いなければならないが、現在は他課の町職員で対応している。今後は、中長期的にインストラクターを務めることのできる者に資格取得させたい。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・早期にインストラクターを置くようにしていただきたい。		

施策項目（２）【各種団体活動の活性化支援】

[スポーツ係]

名 称	地域スポーツクラブ事業	決 算 額	900 千円
事業内容	地域住民の健康維持、体力増進を支える環境づくりを推進し、スポーツを通じた地域づくりに寄与することを目的に、地域単位で多様なスポーツ事業を展開する。		
実績報告	地域住民の健康維持、体力増進を支える環境づくり、スポーツを通じた地域づくりを目指し、各地域スポーツクラブごとに様々な事業を実施した。		
課題・ 今後の方針	誰もが気軽に参加でき、多世代、多種目に対応したプログラムを企画できるように支援をしていきたい。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・各地域スポーツクラブでの事業展開は良いが、合同会議があればお互いどんなことをやっているか情報交換できるのでよいと思う。		

[スポーツ係]

名 称	三種町スポーツ・地域振興 推進協議会	決 算 額	158 千円
事業内容	スポーツ合宿、スポーツ大会等を積極的に誘致開催することで地域活性化を図るとともに、スポーツ団体等とのスポーツ・地域振興を通じた相互連携により、様々な事業を展開しながらスポーツを活用したまちづくりに取り組む。		
実績報告	大会周知看板の設置や秋田ノーザンハピネッツ 25 市町村応援 DAY の町広報による周知協力を行った。また、中央大学準硬式野球部中学生野球教室や J R 秋田硬式野球部小学生野球教室を開催し、ホームページ等で情報発信を行った。		
課題・ 今後の方針	協議会内での意見を参考に他団体とも協力しながら事業を展開し、スポーツによる町づくりに取り組みたい。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・継続必要。		

[スポーツ係]

名 称	日本体育大学・三種町推進協議会	決 算 額	438 千円
事業内容	日本体育大学と平成27年10月に締結した「体育・スポーツ振興に関する協定」に基づき、同大学と連携しながら、町民の体育・スポーツ及び健康づくりに関する事業等を行う。		
実績報告	日体大フェスティバル連携地域物産展に参加し、三種町の特産物をPRすることができた。また、連携自治体受け入れ事業については、参加団体との調整が付かず派遣を断念した。		
課題・ 今後の方針	町出身の同大学OB等の意見も参考に、大学とのパイプを活用し町民に同大学の知見を実感してもらえるような多様な活動ができるよう努めたい。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・一般的に何をやっているのかわかりにくいいため、日体大と連携して事業を展開しているという周知が必要だと思う。 ・大学で高齢者スポーツの研究をやっているのであれば、その研究材料として三種町を活用してもらえないか。例えば学生が考えた高齢者でも楽しめるスポーツを三種町の高齢者で研究するなど交流をしてもよいのではないか		

[スポーツ係]

名 称	三種町スポーツ協会	決 算 額	2,790 千円
事業内容	町内におけるスポーツ団体の連携を図り、町民に対するスポーツ普及振興に期することを目的とする。		
実績報告	加盟２２団体（会員数７５４名）が、それぞれの独自性を生かしたスポーツ事業を実施した。主催事業の研修（講習）会は開催できなかったが、新春懇談会は開催でき、加盟団体の交流を深めることができた。		
課題・ 今後の方針	自主運営に向けて事務局体制の見直しを検討し、今後は自立できるよう支援をしていきたい。また、中学校部活動地域移行の担い手の一つとして期待されることから、情報共有を図っていきたい。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・各団体が活発に活動できるよう、支援の継続が必要。		

[スポーツ係]

名 称	三種町スポーツ少年団	決 算 額	727 千円
事業内容	スポーツ少年団員が地域でのスポーツ活動を中心とした集団的な活動の経験を通じて人間的成長ができるとともに、次代を担う青少年の育成を目的とする。		
実績報告	令和５年度は登録団数１１、団員数１５８名、指導者７９名。主催事業の合同入団式を実施した。また、加盟スポーツ少年団に運営費や指導者及び団員登録料の補助を行った。		
課題・ 今後の方針	冬期間の学校、公共体育施設の利用について各団間での調整が難しく、引き続き話し合いが必要である。また、少子化による団員不足により、これまでどおりの活動の継続が困難になってきている。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・少子化で継続が厳しく、難しいと思われるが継続して欲しい。 ・今までのような活動では、どの団体も衰退していつてしまう。子どもたちが自由にやりたいスポーツを選択できるような工夫ができればと思う。		

施策項目（３）【読書活動の推進】

[生涯学習係]

名 称	読書推進事業	決 算 額	898 千円
事業内容	新刊図書の購入、県立図書館と連携し図書整理を行い、町民の読書意欲、図書利用の向上を促す。		
実績報告	新刊図書購入は定期的に行い、ホームページで紹介している。 県立図書館からの貸借事業の活用もあり、企画展示等充実してきており、図書利用者の関心は高まってきている。 県の読書活動推進パートナー支援事業により、ゆめろんの休憩スペースに設置した「ぽかぽか図書コーナー」を、引き続き実施している。		
課題・ 今後の方針	新たな企画にも積極的に取り組み、利用しやすい図書室の環境整備に努めていきたい。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・町民の読書意欲向上に向けて事業を継続して欲しい。 ・どの図書室も工夫がみられ、とてもきれいになっている。 ・POPなどとても楽しく設置されてる。		

[生涯学習係]

名 称	ブックスタート事業	決 算 額	107 千円
事業内容	町で行っている乳幼児健康診査で、4 カ月児、10 カ月児を対象に三種町の読み聞かせサポーター（登録14名）が絵本を読み聞かせ、「地域みんなで子育てを応援していますよ」というメッセージを伝え、絵本をプレゼントする。		
実績報告	年6回行われた乳幼児健診に合わせて実施。4 カ月児計40人に赤ちゃん絵本をプレゼントした。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、読み聞かせの実施を中止していた。		
課題・ 今後の方針	今後も、地域と家庭のふれあいを後押しすると同時に親子が絵本に親しむきっかけ作りをしていきたい。令和6年6月より読み聞かせサポーター（13名）による読み聞かせを再開している。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・親子のふれあいで大事な心の栄養になる絵本の事業を今後も継続してほしい・ ・絵本の与え方など困っていることなど乳幼児健診で問診する機会があってもよいのでは…。		

主要施策 3 【芸術文化活動の推進と郷土芸能の継承】

施策項目（1）【芸術文化活動の推進】

[生涯学習係]

名 称	三種町音楽演奏会	決 算 額	313 千円
事業内容	町の芸術文化の向上と振興を図るため、秋田大学吹奏楽団と町内中学校の吹奏楽部が合同演奏を行う。		
実績報告	令和6年1月28日（日）山本ふるさと文化館を会場に開催した。令和5年度より中学生・大学生それぞれの演奏に加え、合同演奏を行い、約220名の観客が演奏を楽しんだ。		
課題・ 今後の方針	秋田大学吹奏楽部や町内中学校と連絡を取りながら、令和6年度の開催に向けて準備を進める。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・音楽にふれることは、大切。継続必要		

施策項目（２）【郷土芸能の継承】 （３）【文化財の保護・活用】

[生涯学習係]

名 称	文化振興事業	決 算 額	3,834 千円
事業内容	文化財の保護と活用の促進、郷土芸能・伝統文化の保護、文化財資料の整理収蔵を目的とし、文化財の保護と文化財に親しむ機会を作る。		
実績報告	町指定文化財の保護、天然記念物カモシカ対応、各種団体への補助（芸術文化協会、民俗芸能団体、大山家、農村歌舞伎会館、じゅんさい音頭推進協議会、北涯俳句大会）を行った。 「伝統芸能の祭典 in みたね」を開催し、町内外の民俗文化の交流、町民への文化意識の高揚が図られた。 芸術文化祭は豪雨災害により舞台部門は中止となったが、展示部門は開催され、団体間の交流と成果発表の場を提供することができた。郷土芸能間の交流を広げ技術の向上や継承への意識を高めることができた。		
課題・ 今後の方針	団体との連携を密にしながら、今後も民俗芸能団体等の育成活動奨励に努めていきたい。		
	☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ 改善検討 ☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・ 伝統芸能の継続必要		

3 教育委員会の運営状況

1 会議開催状況

(1) 三種町総合教育会議

第1回 三種町総合教育会議 令和5年12月19日(火)

- 協議 1 学校における働き方改革に係る主な取り組みの状況について
- 協議 2 部活動地域移行の状況について
- 協議 3 統合中学校の進捗状況について

第2回 三種町総合教育会議 令和6年2月13日(火)

- 協議 1 三種町立統合中学校の校名について
- 協議 2 三種町立統合中学校の準備状況と今後のスケジュールについて
- 協議 3 給食費について

(2) 三種町教育委員会(定例会12回)・(臨時会2回)

第4回定例会 令和5年4月21日(金)

- 議案第14号 令和5年度森岳小学校学校運営協議会委員の委嘱について
- 議案第15号 三種町教育支援委員会委員の委嘱について
- 議案第16号 学校医・学校薬剤師の委嘱について
- 議案第17号 三種町社会教育委員会兼公民館運営審議会委員の委嘱について
- 議案第18号 三種町教育委員会事務点検・評価委員の委嘱について
- 議案第19号 三種町地域学校協働活動推進委員の委嘱について
- 議案第20号 三種町学校給食運営委員の委嘱について
- 報告 1 統合中学校建設に関するスケジュール等について

第5回定例会 令和5年5月26日(金)

- 議案第21号 三種町立小・中学校統合検討委員会設置要綱の制定について
- 議案第22号 三種町立小・中学校統合検討委員会傍聴要領の制定について
- 協議 1 令和5年度北教育事務所長・出張所長訪問について
- 報告 1 三種町立統合中学校施設整備計画(案)について

第2回臨時会 令和5年6月15日(木)

- 協議 1 教育委員職務代理者の選任について

第6回定例会 令和5年6月19日(月)

- 議案第23号 夏季休業中の「学校閉庁日」の設定について
- 議案第24号 三種町立小・中学校統合検討委員会設置要綱の一部改正について
- 報告 1 6月議会定例会について
- 報告 2 第1回三種町立小・中学校検討委員会について

第7回定例会 令和5年7月26日（水）

議案第25号 令和5年度要保護・準要保護世帯の認定について

報告 1 7月臨時議会について

報告 2 新ALTの赴任について

協議 1 令和6年度使用小学校教科用図書の採択について

第3回臨時会 令和5年8月1日（火）

議案第26号 令和6年度使用小学校教科用図書の採択について

第8回定例会 令和5年8月21日（月）

協議 1 第2回三種町立小・中学校統合検討委員会について

報告 1 通学路における合同点検状況について

報告 2 令和4年度事業三種町教育委員会事務点検・評価報告について

第9回定例会 令和5年9月19日（火）

協議 1 統合中学校について（校名募集等）

報告 1 9月議会報告

第10回定例会 令和5年10月23日（月）

協議 1 部活動地域移行の体制整備について

協議 2 総合教育会議の日程等について

第11回定例会 令和5年11月22日（水）

協議 1 総合教育会議の内容等について

協議 2 三種町立小・中学校統合検討委員会の日程及び協議内容等について

報告 1 12月議会（補正予算等）について

報告 2 中学校部活動地域移行研修会について

報告 3 全県市町村教育委員会教育長会議について

報告 4 秋田県市町村教育委員会連合会・研修会について

第12回定例会 令和5年12月19日（火）

議案第27号 三種町立部活動地域移行検討委員会設置要綱の制定について

協議 1 令和5年度卒業式及び令和6年度入学式の日程について

協議 2 総合教育会議の内容について

報告 1 12月三種町議会定例会の報告について

第1回定例会 令和6年1月29日（月）

議案第1号 三種町スポーツ・文化栄誉賞受賞者の選考について

議案第2号 三種町立中学校部活動の在り方に関する方針の制定について

協議 1 三種町立統合中学校の校名について

協議 2 令和5年度卒業式及び令和6年度入学式について

報告 1 三種町立統合中学校施設整備計画について

報告 2 給食費について

第2回定例会 令和6年2月26日（月）

議案第3号 令和6年度要保護・準要保護世帯の認定について

議案第4号 三種町立中学校部活動指導員配置規則の制定について

議案第5号 三種町立中学校部活動地域移行検討委員会委員の委嘱について

議案第6号 三種町教育委員会の所管に係る個人情報保護条例施行規則を廃止する規則の制定について

議案第7号 三種町教育委員会が保有する個人情報の保護に関する規則の制定について

議案第8号 令和6年度教職員人事異動の承認について

第3回定例会 令和6年3月22日（金）

議案第9号 三種町立小中学校修学旅行引率補助金交付要綱の制定について

議案第10号 三種町招致外国青年任用規則の一部改正について

議案第11号 三種町学校給食費無償化実施要綱の制定について

議案第12号 三種町学校給食費減額・免除実施要綱を廃止する要綱の制定について

議案第13号 三種町立学校給食共同調理場の管理及び運営に関する規則の一部改正について

議案第14号 三種町学校給食費補助金交付要綱の制定について

議案第15号 令和6年度要保護・準要保護世帯の認定について

報告 1 3月議会定例会報告

報告 2 学習状況調査について

（3）三種町立小・中学校統合検討委員会

第1回検討委員会 令和5年6月23日（金）

協議 1 三種町立統合中学校施設整備計画の策定について

協議 2 三種町立小・中学校統合検討委員会の協議内容について

第2回検討委員会 令和5年8月22日（火）

協議 1 令和5年度の開校準備「班編制」及び「作業内容」について

第3回検討委員会 令和5年12月20日（水）

協議 1 校名の応募結果と候補の選定について

協議 2 制服アンケートの集計結果について

協議 3 教務部会各班での話し合い状況について

第4回検討委員会 令和6年2月14日（水）

協議 1 学校名の選考結果と記念品の贈呈について

協議 2 三種町立統合中学校施設整備計画について

協議 3 各部会の話し合い状況及び今後のスケジュールについて

令和5年度統合中学校施設整備計画報告会 令和6年3月23日（土）

報告 統合中学校の施設整備計画について

(4) 統合中学校ワークショップ

第1回 統合中学校ワークショップ（児童生徒対象） 令和6年2月19日（月）

テーマ：STEAM教育

講演：当該領域のプロフェッショナルによる講義を行い、具体的な実践事例を学ぶ

講師：蓑手 章吾 氏（みのて しょうご・東京都）・松浦 真 氏（五城目町）

ワークショップ：講義でのインプットをもとに、三種町でSTEAM教育を実践するためのアイデアを出し合う。

参加者：中学生15人（5人×3校 2年）・小学生25人（5人×5校 5年）

第2回 統合中学校ワークショップ（社会教育関係者） 令和6年3月7日（木）

テーマ：学校づくりを地域の未来へつなぐ

ゲストスピーチ：一般社団法人ドチャベンジャーズ 理事 柳澤 龍氏

学校施設紹介：「社会教育・地域連携に係る三種中学校校舎の活用について」

ワークショップ：「学校完成時までにはできること」「学校完成後にできること」

参加者：社会教育関係委員（社会教育・文化財保護・芸術文化・スポーツ関係） 23人

(5) 三種町立中学校部活動地域移行検討委員会

第1回検討委員会 令和6年2月26日（月）

協議1 三種町立中学校部活動地域移行検討委員会設置要綱の説明

協議2 国、県の動きについて

協議3 三種町の現状について

協議4 今後のスケジュールについて

(6) 教育委員の活動状況

令和5年4月 7日 令和5年度 小・中学校入学式

4月20日 令和5年度 秋田県小村教育長会定期総会（井川町公民館）

5月 9日 東北町村教育長連絡協議会総会（盛岡市）

5月15日 全国町村教育長会第65回定期総会並びに研究大会（東京都）

6月 2日 能代山本市町教育委員会連合会総会（能代市二ツ井庁舎）

6月12日 学校訪問（山本出張所長・副主幹・教育長・教育委員）～7月11日

6/12（森小・湖小）、6/27（琴小・琴中）、6/30（金小・山中）、7/11（浜小・八中）

7月 7日 東北6県市町村教育委員会連合会第71回定期総会並びに教育長・教育委員研修会（大館市）

7月20日 能代山本地区教科用図書採択地区協議会（能代市二ツ井庁舎）

10月19日 秋田県町村教育長研究会（藤里町）

11月13日 能代山本市町教育委員会連合会研修会（藤里町）

令和6年3月 9日 令和5年度 中学校卒業式

3月16日 令和5年度 小学校卒業式

令和5年度事業三種町教育委員会 事務点検・評価報告書

事務点検・評価委員

工 藤 昭 子 (鹿渡)

三 浦 陽 香 (森岳)

畠 山 篤 美 (芦崎)

令和5年度事業

三種町教育委員会事務点検・評価報告書

〒018-2104

秋田県三種町鹿渡字東二本柳29-3

三種町教育委員会

TEL 0185-87-2113

FAX 0185-87-3052

